

若鳩

WAKABATO

発行所

高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局

〒780-0916

高知市城北町1-14

TEL 088-822-5270

FAX 088-823-6387

二学期の終わりにあたって



教頭 杉山 太夏子

二学期も終業式を迎え、今年もあと十日ほどとなりました。二学期は学校行事も多く、皆で協力して全力で取り組む姿を様々な場面で見ることができました。夏休み以降を振り返ってみますと、北部九州総体やぎふ総文をはじめとする各種大会への参加、SSHや理数科関係の発表や活動、ミニ文化祭、体育祭、遠足など、忙しくも楽しく充実した毎日を過ごしたと思います。皆さんはどの行事や活動が一番強く印象に残っているでしょうか。

ところで、生徒の皆さんは、普段、「分かる」と「できる」の違いを意識しながら学習しているでしょうか。以前勤務した学校で、大学一年の卒業生が母校に帰って来て、在校生に対し受験勉強のことや大学生活のことを話してくれるという機会がありました。

した。その時、卒業生の一人が後輩達に次のようなことを話していました。

「高校一年生の時の定期試験前、クラスの友達の人から「数学を教えて!」と頼まれたので、放課後教えてあげました。友達に「分かった?」と聞くと、皆「分かった」と言っていました。でも、試験が返ってくると、皆、点数が全然とれていませんでした。皆「分かった」と言っていたのに何で点数がとれなかったんだらう。その時、僕は、「分かる」と「できる」は違っていて、「分かる」だけではダメで、「できる」ようになるまで練習しないといけないんだと思いました。だから、皆さんは、「できる」ようになるまで勉強するようにしてください。」

この話を聞いた時、この卒業生が高校一年生の段階で、すでに「分かる」と「できる」の違いを意識するようになっていたことや、教員が生徒に教えるときに感じるような感覚を経験していたことに驚くと同時に、この卒業生が難関大学に現役合格した理由の一つが分かったように思いました。スポーツなどでも、やり方は分かっているけれども練習をしないと上手くできないように、数学などの教科では、ある程度問題を解く練習を重ねないと自力で解ける(できる)ようにはなりません。常にどこかで「できる」ようになっていくかを確認しながら勉強をすることが必要です。さらに、部活動を毎日行っているように、勉強もこつこつと毎日取り組むことが大切です。

しかし、逆に、問題は解ける(できる)ようになっても、本質的に理解して(分かって)いない場合があります。例えば、大学の推薦入試で行われる数学の口頭試問などでは、公式の成り立ちや証明などといった根本的なことが問われることがあります。ただ単に問題が解けるだけでは、そういった質問に答えることはできません。しっかりとした理解(分かること)が必要となります。そのため、毎日の学習の中で、本当の「分かる」になっっているのか、「できる」まで練習できているのかを常に意識しながら勉強に取り組んで欲しいと思います。ラーニングピラミッドという、どういった学習の仕方をすれば学習内容の定着度が高くなるかを示した図があります。その上位二つが「実践による経験や演習」、「他の人に教える」となっています。こうした学習の仕方こそ是非取り入れてみてください。

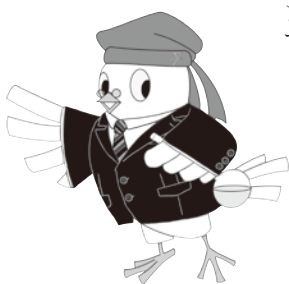
秋は「学力の二極化の秋」ともいわれます。一年生の秋は、授業外の学習時間がきちんと確保できている人と確保できていない人で学力が分かれます。入学以降、学習習慣が身につけている人は、秋以降、学力が向上していきますが、学習習慣が身につけていない人は、中学生の時の学力という貯金を使い果たしてしまい、学力が低下していくといわれています。また、二年生の秋は、進路目標を持っているかどうかといった学習へのモチベーションの有無が、学力差をつけていきます。秋を過ぎて冬休みの始まるこの時期に、今一度、自分自身の取組を振り返ってみましょう。

「今日までの自分が明日の自分を作る」という言葉を、以前、進路講演会で聞きました。昨日までの自分を変えることはできないけれど、今日を頑張ることで明日からの自分を変えることはできます。

年が明けた三学期には、スキー研修や錬歩会、大学入学共通テストなどが行われます。三年生にとっては、あと三週間ほどで本格的な受験シーズンに突入することになります。最後まで自分を信じて頑張ってください。

健康を祈っています。

最後になりますが、皆様にとりまして令和七年が幸多き年となりますことをご祈念いたします。



第107号若鳩

- ・二学期の終わりにあたって
- ・活躍の記録
- ・後期生徒会執行部役員決定
- ・PTAの活動報告
- ・体育祭
- ・ミニ文化祭
- ・読み聞かせ実習
- ・カウンセラー便り
- ・SSH活動状況報告
- ・進路指導部より

など

活躍の記録

【書道部】★授業者

◆第18回全国高校生大作書道展

文部科学大臣賞

池澤 未唯 (3-5 H)

◆第58回高野山競書大会

金剛峯寺賞

藤本 晴 (3-1 H)

毎日新聞社賞

宇根 瑞希 (2-6 H)

全日本書道連盟賞

渡邊 彩巴 (2-5 H)

高野山総長賞

岸田 さら (1-3 H)

南山賞

池澤 未唯 (3-5 H)

高野山書道協会賞

池澤 柚月 (2-2 H)

◆第53回全国高校書道展

推薦

藤本 晴 (3-1 H)

渡邊 彩巴 (2-5 H)

特選

池澤 未唯 (3-5 H)

宇根 瑞希 (2-6 H)

◆第25回高校生国際美術展

○書の部

奨励賞

藤本 晴 (3-1 H)

佳作

池澤 未唯 (3-5 H)

宇根 瑞希 (2-6 H)

★横山 愛莉 (1-2 H)

◆第49回ふれあい書道展

熊野町長賞

藤本 晴 (3-1 H)

筆都大賞

池澤 未唯 (3-5 H)

◆第19回全国高校生「書道」

S-1グランプリ

まほろば賞

宇根 瑞希 (2-6 H)

◆第33回国際高校生選抜書展

秀作賞

池澤 未唯 (3-5 H)

入選

藤本 晴 (3-1 H)

渡邊 彩巴 (2-5 H)

◆第21回安芸全国書展高校生大会

書道美術館賞

池澤 未唯 (3-5 H)

入選

藤本 晴 (3-1 H)

池澤 柚月 (2-2 H)

宇根 瑞希 (2-6 H)

◆第35回中岡迂山記念全国書展

北川村教育長賞

藤本 晴 (3-1 H)

褒状

渡邊 彩巴 (2-5 H)

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

○書道部門

出場

池澤 未唯 (3-5 H)

○美術部

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

美術・工芸部門

出場

山崎 蒼彩 (3-2 H)

◆第78回高知県美術展覧会

○洋画部門

入選

安岡 彩衣 (3-1 H)

長谷田佳香 (3-3 H)

◆令和6年度仁ノ万葉芸術祭

衣通姫絵馬イラストコンテスト

優秀賞

小松 真子 (3-1 H)

○音楽部

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

合唱部門

出場

廣井 嬉美 (3-2 H)

白竹 真博 (3-3 H)

寺村 優花 (3-3 H)

弘田 理子 (2-3 H)

出場

鎌倉 充生 (3-3 H)

又川 穂香 (3-1 H)

小川 紗弥 (2-1 H)

武村 紗弥 (2-1 H)

塩田くるみ (2-2 H)

清水 遥輝 (2-2 H)

高橋 愛花 (2-2 H)

田村 美桜 (2-2 H)

松本 堇 (2-2 H)

安岡 夢音 (2-2 H)

小笠原心春 (2-3 H)

鍋島 彩蓮 (2-3 H)

岡部 夏蓮 (2-4 H)

都築 砂羽 (2-4 H)

森澤 亜衣 (2-4 H)

川崎なつみ (2-6 H)

下村なみ (2-6 H)

佃 健司 (2-6 H)

西山 敦 (2-6 H)

山本 愛莉 (2-7 H)

公文 凛 (2-7 H)

中村 寛太 (2-7 H)

宮原 希衣 (2-7 H)

森田 初唯 (2-7 H)

立仙 奏 (2-7 H)

秋月 愛依 (2-7 H)

城寶明 里 (2-7 H)

岡田 梨香 (2-7 H)

北澤 純 (2-7 H)

実藤 佳 (2-7 H)

濱田こみ (2-7 H)

松繁菜々子 (2-7 H)

大川 彩心 (2-7 H)

古賀 優咲 (2-7 H)

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

吹奏楽部

出場

鎌倉 充生 (3-3 H)

又川 穂香 (3-1 H)

小川 紗弥 (2-1 H)

武村 紗弥 (2-1 H)

塩田くるみ (2-2 H)

清水 遥輝 (2-2 H)

田村 美桜 (2-2 H)

松本 堇 (2-2 H)

安岡 夢音 (2-2 H)

下村なみ (2-6 H)

山本 愛莉 (2-7 H)

◆第72回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会

○高等学校A部門

出場

鎌倉 充生 (3-3 H)

又川 穂香 (3-1 H)

小川 紗弥 (2-1 H)

武村 紗弥 (2-1 H)

塩田くるみ (2-2 H)

清水 遥輝 (2-2 H)

高橋 愛花 (2-2 H)

田村 美桜 (2-2 H)

松本 堇 (2-2 H)

安岡 夢音 (2-2 H)

小笠原心春 (2-3 H)

鍋島 彩蓮 (2-3 H)

岡部 夏蓮 (2-4 H)

都築 砂羽 (2-4 H)

森澤 亜衣 (2-4 H)

川崎なつみ (2-6 H)

下村なみ (2-6 H)

佃 健司 (2-6 H)

西山 敦 (2-6 H)

山本 愛莉 (2-7 H)

公文 凛 (2-7 H)

中村 寛太 (2-7 H)

宮原 希衣 (2-7 H)

森田 初唯 (2-7 H)

立仙 奏 (2-7 H)

秋月 愛依 (2-7 H)

城寶明 里 (2-7 H)

岡田 梨香 (2-7 H)

北澤 純 (2-7 H)

実藤 佳 (2-7 H)

濱田こみ (2-7 H)

松繁菜々子 (2-7 H)

大川 彩心 (2-7 H)

古賀 優咲 (2-7 H)

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

吹奏楽部

出場

鎌倉 充生 (3-3 H)

又川 穂香 (3-1 H)

小川 紗弥 (2-1 H)

武村 紗弥 (2-1 H)

塩田くるみ (2-2 H)

清水 遥輝 (2-2 H)

田村 美桜 (2-2 H)

松本 堇 (2-2 H)

安岡 夢音 (2-2 H)

下村なみ (2-6 H)

山本 愛莉 (2-7 H)

◆第71回NHK杯全国高校放送コンテスト

【放送部】

◆第71回NHK杯全国高校放送コンテスト

○アナウンス部門

出場

松本菜々佳 (3-2 H)

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)放送部門

朗読部門

出場

飯沼 大智 (3-3 H)

江西帆帆子 (3-3 H)

◆【将棋囲碁部】

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)将棋部門

女子個人戦

出場

岡村 彩絢 (3-7 H)

◆【新聞部】

◆第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)

新聞部門

出場

西本 真未 (2-1 H)

野口 春乃 (2-7 H)

楠瀬 寛人 (1-5 H)

岡村 充流 (1-7 H)

◆【女子バスケットボール部】

◆令和6年度高知県高等学校バスケットボール秋季選手権大会

ベスト8

下司 桃佳 (2-2 H)

片岡 桃梨 (2-3 H)

山本莉理子 (2-3 H)

川添 優理 (2-5 H)

山下 真依 (2-5 H)

南 泉菜 (2-5 H)

川添 真依 (2-5 H)

山崎 葵衣 (1-2 H)

横山 愛莉 (1-3 H)

池田 亜月 (1-3 H)

山本 杏 (1-4 H)

大原菜々美 (1-5 H)

西村香愛伝 (1-6 H)

◆【卓球部】
第77回四国高等学校卓球選手権大会
男子団体
出場
門脇 永十 (3-1 5 H)
市川 慶多 (3-1 6 H)
嶋崎 一颯 (3-1 6 H)
大友 銀次郎 (2-1 3 H)
筒井 秀貴 (2-1 3 H)
的場 遼斗 (2-1 4 H)
濱田 隼矢 (1-1 3 H)
男子シングルス
出場
市川 慶多 (3-1 6 H)
筒井 秀貴 (2-1 3 H)
濱田 隼矢 (1-1 3 H)
女子シングルス
出場
西田 瑠来 (1-1 1 H)

◆令和6年度高知県高等学校夏季バドミントン選手権大会
男子団体戦
ベスト8
江口 拓海 (2-1 4 H)
片岡 正斗 (2-1 5 H)
川崎 大輝 (2-1 7 H)
武田 哲拓 (1-1 1 H)
西村 柊雅 (1-1 1 H)
橋田 航典 (1-1 3 H)
満田 奏多 (1-1 3 H)
男子ダブルス
ベスト8
江口 拓海 (2-1 4 H)
橋田 航典 (1-1 3 H)

◆令和6年度高知県高等学校夏季卓球大会
男子団体
ベスト8
大友 銀次郎 (2-1 1 H)
筒井 秀貴 (2-1 3 H)
清岡 和樹 (2-1 4 H)
的場 遼斗 (2-1 4 H)
頼 亮丞 (2-1 4 H)
黒原 晴斗 (1-1 2 H)
井上 隼矢 (1-1 3 H)
濱田 隼矢 (1-1 3 H)
令和6年度高知県高等学校秋季卓球選手権大会
女子団体
第3位
川村 思舞 (2-1 3 H)
岩本 瑠椰 (2-1 7 H)
西田 瑠来 (1-1 1 H)
下元 千夏 (1-1 6 H)

◆第72回四国高等学校バドミントン選手権大会
女子団体戦
出場
小松 奈央 (3-1 1 H)
小川 桜花 (3-1 2 H)

◆【野球部】
第106回全国高等学校野球選手権高知大会
ベスト8
嶋本 遥 (3-1 1 H)
嶋本 碩也 (3-1 2 H)
井上 惇貴 (3-1 3 H)
藤原 惇知 (3-1 3 H)
松崎 心 (3-1 4 H)
千光士 泰誠 (3-1 5 H)
市川 遼真 (3-1 5 H)
島崎 一真 (3-1 6 H)
谷村 寛太 (3-1 7 H)
殿村 寛太 (3-1 7 H)
南橋 歩 (3-1 7 H)
松浦 直希 (3-1 7 H)
一柳 亨成 (2-1 1 H)
藤本 晃成 (2-1 1 H)
有馬 勘祐 (2-1 3 H)
三井 悠靖 (2-1 3 H)
逢坂 涼太 (2-1 4 H)
田村 楓音 (2-1 5 H)
西田 瑛太 (2-1 5 H)
濱窪 瑛太 (2-1 5 H)
上南 陽菜 (2-1 6 H)
大川 公弥 (2-1 6 H)
小松 哲貫 (2-1 6 H)
武林 翔 (2-1 6 H)

◆第77回秋季四国地区高等学校野球大会高知県予選
ベスト8
浅井 優希 (2-1 7 H)
佐藤 雅心 (1-1 2 H)
伊藤 啓 (1-1 5 H)
利根 常理 (1-1 6 H)
山本 圭輝 (1-1 6 H)
依岡 憲信 (1-1 6 H)
和田 佳尚 (1-1 6 H)

◆第68回高知県選抜高等学校野球大会
ベスト8
浅井 優希 (2-1 7 H)
佐藤 雅心 (1-1 2 H)
伊藤 啓 (1-1 5 H)
利根 常理 (1-1 6 H)
山本 圭輝 (1-1 6 H)
依岡 憲信 (1-1 6 H)
和田 佳尚 (1-1 6 H)

◆【ソフトボール部】
令和6年度高知県高等学校ソフトボール夏季大会
女子
第2位
中島 和香 (2-1 6 H)

◆令和6年度高知県高等学校ソフトボール秋季大会
女子
第2位
中島 和香 (2-1 6 H)

◆令和6年度高知県高等学校ソフトボール冬季大会
女子
第2位
中島 和香 (2-1 6 H)

◆令和6年度全国高等学校総合体育大会
男子サッカー競技
出場
三代木 宗恒 (3-1 2 H)
山本 滉太 (3-1 2 H)
金田 豊樹 (3-1 3 H)
中里 豊人 (3-1 3 H)
池田 泰雅 (3-1 4 H)
笹原 颯斗 (3-1 4 H)
柴田 翔朱 (3-1 4 H)
吉永 太洋 (3-1 5 H)
一色 真慧 (3-1 6 H)
武内 智貴 (3-1 6 H)
松吉 煌生 (2-1 2 H)
岡上 晴瑠 (2-1 3 H)
村田 壮真 (2-1 3 H)
石川 竜希 (2-1 4 H)
澤井 侑拓 (2-1 4 H)
大川 哲平 (2-1 4 H)
清水 敬太 (2-1 4 H)
深見 紬心 (2-1 5 H)
上田 海心 (2-1 6 H)
松本 涼太 (2-1 7 H)

◆第45回国民スポーツ大会四国ブロック大会
出場
川上 栞奈 (2-1 2 H)

○サッカー
準備勝
大川 哲平 (1-1 4 H)
◆第78回国民スポーツ大会サッカー競技
出場
大川 哲平 (1-1 4 H)

◆【陸上競技部】
第37回リレーカーニバル大会
女子4×800m R
第1位
河合 花梨 (2-1 1 H)
山中 理子 (2-1 1 H)
川上 栞奈 (2-1 2 H)
岡田 有俊 (2-1 6 H)

◆第77回四国高等学校陸上競技対校選手権大会陸上競技の部
○8種競技
第6位
岡崎 力丸 (3-1 6 H)

○7種競技
第8位
山中 理子 (2-1 1 H)
高橋 亜子 (3-1 1 H)

○男子1000m
出場
宮本 悠人 (2-1 6 H)
宗石 直樹 (2-1 6 H)

○男子4×100m R
出場
深田 健斗 (3-1 6 H)
田島 暖也 (2-1 1 H)
徳永 優太 (2-1 2 H)
宮本 悠人 (2-1 6 H)
宗石 直樹 (2-1 6 H)
大原 郁人 (1-1 2 H)

○女子800m
出場
河合 花梨 (2-1 1 H)

○女子5000m W
出場
川上 栞奈 (2-1 2 H)

[illegible]

令和6年度 後期生徒会執行部役員

役 職	氏 名	学年ホーム
生徒会長	谷 脇 悠 真	2年1H
副 会 長	池 田 吏 輝	2年1H
文 化 部 長	植 村 英 太	2年5H
体 育 部 長	矢 野 絵 理 奈	1年7H
交 流 推 進 部 長	武 野 舞	2年2H
交 通 自 治 部 長	大 麻 こ は る	1年5H
保 健 美 化 部 長	田 中 ひ か り	1年2H
広 報 伝 達 部 長	森 響 希	2年1H
会 計 部 長	都 築 妃 乃	2年1H
書 記	五 藤 衣 花	1年3H
会 計 監 査 委 員 長	水 谷 楓 愛	1年5H

令和6年度
後期生徒会執行部役員決定！

十一月七日(木)、令和六年度後期生徒会役員執行部の立候補者による立会演説会が行われました。今回の選挙においては、生徒会長は二名による決選投票、副会長他の役員は全校生徒による信任投票ののち、役員が決定されました。



生徒会長あいさつ

生徒会長 谷脇 悠真

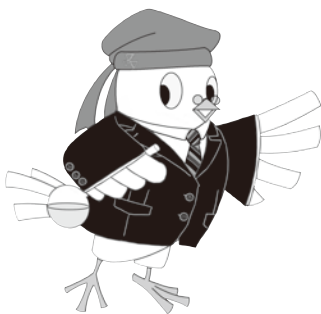
このたびは生徒会長を務めることとなりました、二年生の谷脇悠真です。私が生徒会長になったからには必ずこの小津高校をより良いものにしていきます。そのためには、他の生徒会メンバーをはじめ、生徒のみなさんや先生方のご協力が不可欠だと思っています。まだまだ経験不足で未熟な自分ですが、この小津高校のために精一杯尽力していきますので、よろしくお願いします。

PTAの活動報告

第六十六回中国・四国地区
高等学校PTA連合会大会
高知大会を終えて

PTA会長 久保 雅裕

七月十二日(金)、高知県立県民文化ホールにて当大会が開催されました。当日は、県立高校元校長の垣内守男氏による講演、県内四校の高校生による発表、三県の高校のPTA活動についての研究協議など、充実した研修内容になったことだと思います。この大会を運営するにあたり、当日だけでなく前日の準備からPTA役員の方には大会スタッフとしてお手伝いしていただき、ありがとうございました。またお忙しい中、多くの保護者と先生方のご協力をいただき、小津高校からは三十三名もの参加をいただきました。皆様のご協力もあり、大会実行委員会運営部長として、また、小津高校PTA会長として、この紙面をお借りしてとほなりますが感謝申し上げます。どうもありがとうございます。皆様に各々の今後の活動の場で活かしていただければ幸いです。今後とも本校PTA活動へのご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。



久保PTA会長 全国高P連会長表彰 (個人の部)受賞

八月に茨城県水戸市で開催された、第七十三回全国高等学校PTA連合大会茨城大会にて、本校PTA会長 久保雅裕氏が、一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長表彰(個人の部)を受賞されました。久保会長は、令和四年度に本校PTAの副会長を務め、令和五年度からは会長を務めています。また、令和四年度から高知県高P連の副会長も務めています。

本校のPTA活動をけん引されているだけでなく、今年度開催された中・四国地区高P連大会高知大会の実行委員会運営部長として、大会開催に向けて準備等に尽力されました。このような功績が評価され、この度の受賞に至ったことは、本校PTAとしても誠に喜ばしく思います。今後とも、久保会長の益々のご活躍を祈念いたします。



グローバルトークOZU異文化・国際交流会 (PTA国際委員会)

八月一日(休)、本校にて「グローバルトークOZU異文化・国際交流会」が開催され、生徒三十一名、保護者等七名、教員数名が参加しました。

高知市内在住外国人(龍馬学園で日本語を勉強中の留学生)を四名お招きして、自己紹介をしていただいたのちに、グループディスカッションを行いました。当日はALTの先生にも特別に参加していただきました。「留学生の様々な国のリアルな話を聞けてすごく楽しかったです。」等の感想が寄せられ、参加者は充実した時間を過ごすことができました。



第七十三回全国高P連茨城大会に参加しました

PTA会長 久保 雅裕
全国高等学校PTA連合会宮城大会が八月二十二日(休)、二十三日(金)の二日間、水戸市で開催され、小津高校PTA副会長の山本さんと総務部長の植村先生の三名で参加してきました。大会前日に県高P連の佐竹会長らと空路、バスを利用し、まず、茨城県つくば市のイーアスつくば内にあるサイバーダイナミクススタジオを訪れました。ここでは、脳の神経信号から筋肉の動きを察知して、四肢の動きを補助してくれるサイボーグHALを、実際に腕に装着して体験することができました。今後、このような最先端のロボット技術が医療や介護の現場で普及していくことが期待されます。その後、鹿島神宮を訪れました。鹿島神宮は紀元前六六〇年に創建されたと伝えられており、日本全国約六〇〇社ある鹿島神社の総本社です。神宮敷地は広大で、すべて周ることはできませんでしたが、心落ち着く雰囲気や歴史の長さを感じました。

大会初日は五つの会場に分かれて分科会が開催されました。私が参加した第三分科会では、日本一有名な大家族のお母さん石田千恵子氏から「子育ては気力・体力・経済力」という演題で講演をいただきました。その後、石田氏と茨城県高P連の関係者とのフリートークが展開されました。この講演とフリートークでは、人間関係の悩みや人生の岐路に立った際、家族愛や人々との絆を再認識することで、失ってはいけないものとは何か、守るべき人は誰なのか、という不安を払しょくするための具体的なビジョンをいただきました。

二日目はアダストリアみとアリーナで全体会が開催されました。開催にあたり茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」によるマーチングバンドが披露されました。五つの演奏曲目が披露されましたが、いずれも軽快且つ統率がとれた素晴らしい演奏と動きで、会場全体が高揚感に包まれました。その後、開会行事と全国高P連関係の表彰式が行われ記念講演となりました。記念講演では二所ノ関寛氏(第七十二代横綱稀勢の里)から「人材育成の不易流行」という演題で講演をいただきました。二所ノ関氏といえ、大関昇進以前に横綱白鵬の連勝を六十三で止めたことでも知られる実力者でした。現役引退後は早稲田大学大学院に進学し、スポーツ科学やスポーツマネジメントを研究されたそうですが、大変な努力をされたことを知りました。二所ノ関親方は相撲部屋を国技館から離れている地元の茨城県に構えたり、弟子たちに稽古前に朝食を摂らせたりするなど、今までの角界にはない新しい試みに挑戦しています。そして令和四年度には、部屋別の年間勝率一位という素晴らしい結果を残しました。相撲の発展を願う熱い思いをもって、大学院で研究した理論を実践して結果を出している二所ノ関親方から学ぶべきことを多くいただきました。伝統や歴史を尊重しつつ、自ら探究した理論に基づいて新たな挑戦を続ける二所ノ関部屋に今後も注目したいところです。

今回の大会に参加したことにより、さまざまなものの捉え方や考え方について改めて考えさせられるとともに視野が広がりました。PTA活動においては、これまで継続してきた活動を大切にしつつ、子ども達や時代の変化に順応した活動を検討していく必要を感じました。この経験を活かして、今後のPTA活動をさらに活発なものにしていきたいと思っています。

PTA秋の研修行事

《仁淀川町の地域活性の取組を知る・ジップライン体験ツアー》

○日時…令和六年九月十六日(月)朝十時～十五時
 ○場所…岩屋川溪谷ニヨフラ(吾川郡仁淀川町別枝石ノ内)
 ○参加者…十一名(保護者等五名、生徒四名、教員二名)
 ○研修内容

AM…岩屋川溪谷に到着。いよいよ研修スタート!!雨による増水のため秋葉神社見学に変更し、現地のガイドさんに神社についてレクチャーしていただいた。その後、溪流茶屋嵯峨野にて未来会議のスタッフの方から「仁淀川町の暮らし(介護・福祉)の取組」や岸本社長から「ビバ沢渡の会社設立と想いとビジョン」を伺った。昼食は、茶農家特製あすなる弁当&入りもち&沢渡茶をいただいた。食後は岸本社長より沢渡茶のお茶の入れ方について実演していただき、二名の参加生徒が挑戦した。

PM…ニヨフラ(岩屋川上空にある吊り橋&ジップライン)の絶叫体験。体験者は七名。スタート前は緊張する人やワクワクしている人など様々だった。体験後は、沢渡茶をいただき、しばしくつろぎタイム。

《研修ツアーに参加された方の感想》

地域活性のために陰で動いている人がいる。未来会議のスタッフのおひとは大阪から仁淀川町に移住され、理由は「ここは何もなかったからよかった」と言われた言葉が印象的だった。あすなる弁当は地元のお野菜を使って仁淀ならではの味でおいしかった。娘と楽しくまた勉強になった一日だった。秋葉神社のガイドをしていただき、宮大工の仕事の綿密さやユーモアのある彫刻に感銘を受けた。秋葉神社について新たな学びを体験でき有意義な時間となった。地域課題についてお話を伺い、我が子たちにもまずこうした地域を「見る・知る」ことの大切さを改めて感じた。大学や進学については、自らの手で情報を探そうとするが、今回の内容は自分たちでは知ることがなかなかできない体験だったように思うので、今後は多くの学生や保護者さんにも学べる機会を設けることができたら良いと思った。



一年学年委員会主催企画

《学校探検ツアー&部活動見学&茶話会》

十月二十六日(土)十四時から本校で開催され、保護者等二十一名が参加しました。学校探検ツアーでは、本校教員の案内のもと校内を探索しました。現在保存棟が改修工事のため本校の歴史が詰まっている校史資料室に入ることができなかったですが、東館や西館、芸術棟などを見取り図を手に皆さん仲良く探検することができました。廊下を歩きながら居合わせた教員が飛び入りで日頃の活動内容を紹介してくれたり、部活動をしている生徒たちからも声をかけてくれたりとアットホームな雰囲気でした。また、茶話会では十数名と教員五名が参加し和気藹々とした雰囲気の中お互いに交流を深めました。自分たちの高校時代のことを語ってくれた小津出身の保護者の方々も数名いて、話がとても盛り上がったことでした。



秋の交通安全キャンペーン実施

生活委員会

十月二十二日(火)の朝の通勤、通学の時間帯に、秋の交通安全全キャンペーンを実施しました。本校の各ホームの前期交通安全委員の生徒をはじめ、高知警察署、交通安全協会高知支部、地域の交通安全関係者の方々が参加し、本校からは三名の育成員が参加しました。また、高知工業高校と高知追手前高校から各一名の育成員が参加してくれました。小津高校に集合した後、附属小学校南側の交差点に移動し、生徒たちが中心になって、信号待ちの自転車や歩行者に、交通安全の声をかけと自転車ヘルメット着用の啓発活動を行いました。

二年保護者対象
進路説明会

十一月九日(土)の午後、PTA二年学年委員会の主催で、進路説明会および茶話会が実施されました。進路説明会には一〇〇名を超える保護者が参加され、本校進路指導部長の説明を聞きました。説明会の内容は、二年生の現状や、新しい教育課程について、また近年の大学入試の日程や傾向、進路決定の仕方、大学や社会でこれから必要とされる能力など多岐にわたりました。進路決定において大切な時期である二年生の二学期に、進路に関する説明会を行うことができ、良かったことです。引き続き茶話会を実施し、三十五名ほどの保護者が参加され、ホーム担任の先生方などと、進路説明会の内容や、生徒たちの学校や家庭での様子、日ごろ気になっていることの相談や情報交換など、多岐にわたる話を、時間を忘れて行うことができました。



体育祭

2年に一度の大体育祭が9月25日(木)に行われました。予報では天候が心配されていましたが、当日は天気恵まれ、青空の下で行うことができました。

個性を活かしたパネルや趣向を凝らした応援合戦が準備されており、素晴らしいものでした。

また、ホームやクラブ対抗リレーなど様々な競技で、勝利に向けて懸命に取り組む姿が見られました。閉会式終了後も各組に分かれ円陣を組んだり、ホームで記念写真を撮ったりと充実した一日を過ごした生徒たちは満足そうでした。



団長宣誓



パネル

100m走



1年



2年



3年

障害物競走



ムカデ競走



行き先はわからん

タイヤ奪い



綱引き

応援の様子



青組応援



赤組応援



黄組応援





玉入れ



三人三脚



いなばのハト渡り



騎馬戦



スピード派

クラブ対抗リレー



アピール派



ホーム対抗リレー



表彰



決勝



色別対抗リレー



総合得点

〈結 果〉

総合優勝 … 赤組
パネル大賞 … 赤組
応援大賞 … 黄組

文化祭

9月21日(土)にミニ文化祭が開催されました。体育館で開会式、企画紹介を行った後、文化部の発表を中心にした文化祭が始まりました。生徒会企画の宝探しの効果も相まって、多くの生徒が様々な企画場所を訪れました。この日に向けて準備した展示、発表などを行った文化部等の団体はとても良い経験になったと思います。



生物部



科学部(空気砲的当て)



新聞部



書道部



華道部



茶道部



吹奏楽部



フォークソング部



演劇部



漫画研究部



ハンドメイド部



写真部



音ゲー試遊(ゲーム開発班)



ギター弾き語り(3年生)



生徒会企画「小津のお宝」



高知ろう学校との交流学習

保育園への「読み聞かせ」に行ってきました

天候に恵まれた七月三十日(火)猛暑の中、保育士等志望の三年生と、図書部員との計十五名で、小高坂保育園に「読み聞かせ実習」に行きました。これに先立ち、七月二十二日(月)に、「絵本の店 コッコ・サン」の店長・森本様に「読み聞かせ講習会」をしていただきました。

今年十九回目を迎えた読み聞かせ講習会では、読み聞かせに関する技術的なことについて学べたのはもちろんのこと、絵本から発せられるメッセージや、絵本を読む時間を共有することが多くありました。「子どもの気持ち」になってみるために、体を使って様々な活動を行う中で、自然と童心に返り、笑顔が広がっていました。森本様から、「伝染しやすいもの三つに、あくび・不機嫌・笑顔があります。中でも、強い伝染力を持つのが不機嫌です。でも、広がるのは笑顔の方がいいですよ」というお話がありました。参加者は皆、笑顔で周囲に接することの効果を実感したのではないのでしょうか。受験に対するストレスやプレッシャーと無縁ではられない毎日を過ごす三年生にとって、心から楽しみ、幸福感を味わえたひとときになったようです。

読み聞かせ実習の日が近づくにつれ、不安や緊張も出てきましたが、「園児たちに楽しんでもらうには、まず自分が楽しむことが大事」という助言を思い出し、落ち着いて練習を重ね、準備しました。迎えた当日、どのグループも練習の成果を存分に発揮し、四歳児クラス、五歳児クラスとも大盛り上がりでした。交流の時間はあっという間に過ぎ、互いに別れを惜しみながら帰途につきました。暑い中で疲れもあったと思いますが、参加生徒全員が達成感や満足感を抱いて終了することができました。今回の講習会・実習に参加したことので得られたことは、他の事柄にも活かされていくのではないかと思います。



カウンセラー便り



スクールカウンセラー

吉野 飛鳥

小津高校のみなさん、こんにちは。長かった二学期がようやく終わろうとしています。

この時期になると相談室でも進路について話をお聴きする機会が多くなります。「みなさんの長所は何ですか?」、「将来したいことはありますか?」。自分の良いところを探すことや進路を決定する難しさに悩む人もいるのではないのでしょうか。これまでとは違って現実的に進学や就職が差し迫っている中で、したいことを具体化する難しさもあると思います。これがしたいと思うても、本当にやりたいと言い切れない、できるだけかという不安が必ずついてくると思いますが、新たな道を選ぶ時には必ず不安はつきものです。どうしても前向きな選択が難しい時、これだけではできない、自分には向いていないという方向から考えていく方法も役立つことがあります。人によって進路の目的も様々です。また、選択の方法もそれぞれ違っていると思います。これがしたいと断言できなくても、やってみたいと思える気持ちがあるかどうか大切ではないかと私は感じています。

相談室では、皆さんがよりよい高校生活を送れるように一緒に考えていければと思います。気軽に相談室を利用して下さい。また三学期にお会いできることを楽しみにしています。

～ 利用方法 ～

日時	水曜日(12時00分～17時30分)
場所	4階カウンセリング職員室隣の面談室
予約	担任の先生やカウンセリング職員室の先生、養護教諭の先生などを通じて予約ができます。また、SCの勤務日に直接面談室に予約をとりに来てもらっても構いません。

文部科学省指定

SSH
(スーパーサイエンス
ハイスクール)

認定枠1年目

各SSH担当より

令和六年度SSH活動の概要

本校は令和六年度から、SSH認定枠の指定を受け、これまでのSSHの取組を継続実施しながら、『地域で活躍できる人材(リージョナル・イノベーター)の育成』に取り組むことになりました。

今年度は、高大連携を中心とした特色ある取組を県内高校に普及するとともに、課題研究や科学英語で培ってきた学びの往還を他の教科にも広げ、文理融合型学習の実現に向けた授業改善を目的に新たな取組を行っています。

今回は、六月以降に実施されたSSH活動の様子を中心にご紹介したいと思えます。

●SSH課題研究活動発表会

六月二十三日(日)に、普通科・理数科の三年生全員が課題研究で取り組んできた成果の発表を行いました。これまででは普通科と理数

科が別々に発表会を行ってききましたが、今年度からはその垣根を取り除き「ALL小津」の取組として、合同の探究活動発表会を実施しました。

社会科学・総合科学・自然科学分野と様々な領域での課題研究が発表されました。研究背景・研究目的・リサーチクエスチョン・仮説・研究方法・結果・考察・結論(提案)の流れで発表が行われ、生徒にとつては、自分たちの課題研究に対する理解を深める良い機会となりました。

保護者等や中学生、高知県教育委員会の指導主事の先生方など多くの参加をいただき、大変盛況でした。出席いただいた皆様からは、「着眼点が良かった」「や「もう少し掘り下げた考察が必要だったのではない」「学校の取組が分かり、参加して良かった」など様々なご意見をいただきました。



探究活動発表会の様子

課題研究を通して得た貴重な経験を、高校卒業後の活動でしっかりと役立ててほしいと願っています。

◆普通科 総合的な探究の時間

○地域の課題講演Ⅱ(一年)

六月二十一日(金)、普通科一年生を対象として、高知大学地域協働学部 松本明先生より、「SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標とは」その経緯とわたしたちができること」と題して講演いただきました。



研修室での講演の様子

講演は年表作成ワークショップに書き込みながら、SDGsの十七の目標分野が定められた経緯を理解することから始まりました。その後、十七の分野から関心のある項目を選び、高知県内に関連する事例について、Chromebookで検索しまし

た。自分たちの生活と関連のある事例を知ること、SDGsを「自分ごと化」することができていました。講演後の感想文にもSDGs達成のために自分たちができることを記入している生徒が多く見られました。

○ミニ課題研究(二年)

六月二十八日(金)から、全五回の授業を使い、「ミニ課題研究」に取り組ましました。

これは、株式会社steviaととの共同企画で実施したもので、研究テーマを決め、リサーチクエスチョンを導き、探究計画書を作成し、発表するという探究プロセスを疑似体験するプログラムとなっています。授業はすべてオンラインで実施する初めての試みでした。



ミニ課題研究に取り組む様子

二年生になってから取り組む課題研究で必要な「課題設定」「情報収集」「情報整理・分析」「まとめ・表現」といった力を養うことを最終目標に、生徒たちは大変熱心に講義を聞き、活動に参加していました。プログラムの終了した後、生徒の感想には、「一つのことに深く考えることで、多面的な考え方ができるのだと思った。またゴールにたどり着くのにいろんな道があるのだと気付いた」、「探究活動は順序だてて考えなければいけないので苦手だったけど、今回シミュレーションをして少し慣れることができたので、二年で頑張りたい」といった、前向きな意見を書いてあるものが多く見られました。

○課題研究進捗状況クラス発表会(二年)

十月三日(木)、普通科二年生は、課題研究進捗状況クラス発表会を行いました。発表会では、自分の研究グループメンバー以外のクラスメイトに、テーマ設定の理由や、夏休みに行った活動等について、発表をしました。自分たちの研究内容を整理

しなおしたり、多くの人から意見をもらったりすることができました。次回以降は、一月の発表会に向けて、スライドを作成する活動に入ります。

◆SSH生徒研究発表会

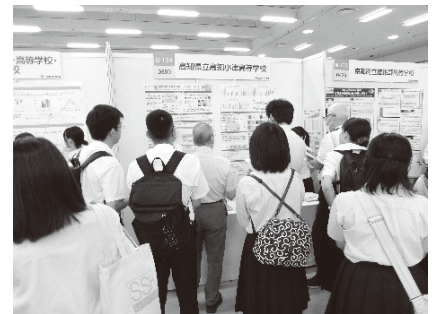
(兵庫県神戸国際展示場)

八月七日(水)、八日(木)に、兵庫県神戸市 神戸国際展示場で令和六年度SSH生徒研究発表会が開催され、本校からは化学分野の「廃棄野菜の色素を活用した絵の具の作成方法」が代表として参加しました。

開催一日目は、各校のポスター発表および審査が行われ、他校の生徒や審査員が、発表ブースに次々と訪れてくれました。他校の先生方からは「発表の仕方が上手である」「コミュニケーションの取り方が良い」など、お褒めの言葉を多くいただきました。

開催二日目は、代表校による全体発表が行われました。代表校の発表はどれも着眼点が面白く、素朴な疑問を高校生として限界まで探究しており、「なるほど」と感心させられるものばかりでした。

発表会を通して、全国の高校生と交流を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。



SSH生徒研究発表会の様子

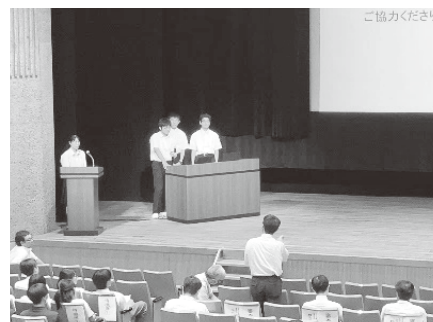
◆第二十六回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会(島根大会)

中国・四国・九州地区の理数科設置校の代表生徒が一堂に集まり、課題研究の成果を発表する大会です。今年度は島根県松江市での開催でした。

本校からは、ステージ部門に「堤防の側壁に設置した突起物と流速の関係について」(物理分野)が、ポスター部門に「堆肥化を早めるミミズコンポスト」(生物分野)が代表として参加しました。

審査員からは、今後の研究に生かすことのできる有意義なご助言やご指摘をいただくことができました。また、他校の生徒との交流を通じて、研究を行ううえで大変だったことや、大切にしていたことなどを共有することができました。今回の発表を通して、

自分たちが取り組んできた課題研究の「面白さ」や「発展性」などにも改めて気づくことができ、良い学びの機会になったことと思います。



ステージ発表の様子

◆理数科 理数探究基礎

○ミニ課題研究Ⅱの取組(一年)

一年生理数科では、理数探究基礎の中で、ミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。

一学期は、化学分野において、課題研究に必要な実験器具の扱い方やポスター発表の方法を学びました。

二学期からは、物理・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組み、それぞれの分野で必要な実験器具の扱い方や調査方法、スライド発表の方法を学んでいます。

探究学習を通して、生きた知識を身に付けるとも

に、「なぜ」という疑問を深く掘り下げる探究力を磨いていってほしいと思います。



ハイスピードカメラを用いた重力加速度の測定

◆理数科 理数探究

○課題研究の取組(二年)

二学期からは二年生の課題研究活動が本格的に始まりました。現在、物理・化学・生物・数学・地学二の全八グループに分かれて活動を行っています。

夏季休業中には、高知大学農林海洋科学部を訪問して、研究について相談に乗ってもらったり、休み時間や放課後を使って担当教員に相談をしたり、先行研究の調査や実験に取り組んだり、各グループが頑張っている姿が見られています。

限られた時間ではありますが、主体的に研究に取り組むことで、課題発見力・

倫理的思考力・協働する力・情報収集力・情報発信力などを伸ばし、将来的に地域で活躍できる人材(リジョナル・イノベーター)に育ってもらいたいと思います。



中間発表会に向けた資料作成の様子

◆短期集中体験ゼミ

●物理実験体験ゼミ

七月二十六日(金)の午後、高知大学朝倉キャンパスにて、物理実験体験ゼミを実施しました。十三名の生徒が参加し、高知大学の加藤治一先生からご指導いただきました。

はじめに超伝導について講義があり、実験のねらいや概要、理論などを確認しました。その後、班に分かれて体験実習に取り組みました。試料を液体窒素で冷却すると、超伝導体が磁石に対して完全反磁性を示し

て浮かび上がる様子が見られ、生徒達は興味深く観察していました。また、液体窒素を用いて空気中の酸素を冷却すると液体になり、水色になることなども確認しました。続いて超伝導体の温度を下げて電気抵抗が0になることを確かめる実験を行いました。



温度を下げて電気抵抗を測る実験

最後のまとめでは、各班が行った実験の結果について発表しました。体験ゼミ終了後、参加生徒が「知識だけでなく実験を通じて学ぶことができ、物性物理をさらに深く学びたいと感じた」と話してくれました。

◆A-I体験ゼミ

八月三十一日(土)に、A-I体験ゼミを実施しました。今年度からは他の県立高校からも参加者を募り、先進的な科学実習を広く普及する取組を始めました。講師

は、高知工科大学の吉田真一先生で、A-I技術や情報分野に興味のある高校生に對し、分かりやすく丁寧な指導してくださいました。初めはA-Iについての基礎的な知識の確認をして、現在注目されているデータサイエンスの内容を新型コロナウイルス(COVID-19)の実際のデータを活用して、帰分析や散布図の作成をしたりしました。また、講義後半はニューラルネットワークについて基本知識を学習するとともに、顔認識ソフトを利用してA-Iの正確さや不確かさを体験しました。世界中の様々な場所で作られている生成A-Iの事例を聞くことにより、興味・関心を深め、貴重な体験をすることができました。

◆科学巡検体験ゼミ

十月二十六日(土)、二十七日(日)に、理数科および普通科の生徒十一名が、ユネスコ室戸世界ジオパーク周辺においてフィールドワークを行いました。一日目の午前中は、室戸岬周辺で隆起したタービダイトの砂泥互層の堆積構造や貫入した斑レイ岩、接触変成作用でできたホルンfelsの観察を行いました。午後からは、室戸海洋深層水アクアファームに移動し、深層水から作られた

飲料を試飲し、味の違いを確認したり、日沖漁港で枕状溶岩の立体的な様子を観察してマグマが噴出した時の上下を考察するなどしました。



日沖漁港にて枕状溶岩の観察

二日目は磯の潮だまりに生息する魚・エビ・カニ・ナマコなどの観察を通して、生物たちが限られた環境の中でより安全に行動している様子から、狭い環境下にも食物連鎖が存在していることなどを学習することができました。午後からは、むろと廃校水族館で高知県東部地域に生息する魚類や海洋生物の観察を行うとともに、エサやりの体験を通して魚が学習行動をとることなどを体験的に学びました。帰りのバスの中では、海成段丘の地形について学習を行い、室戸岬の段丘では先端部が急な傾斜になり台形型となっているのに対

し、大山岬・芸西村の段丘では高知県東部地域が隆起し続けたため、緩やかな傾斜となっていることなどを確認しました。

◆化学実験体験ゼミ

十月二十六日(土)に、高知大学理工学部で、化学実験体験ゼミを行いました。午前の部では、化学生命理工学科の今村和也先生指導の下、「触媒による色素の合成」実験を行いました。異なる酸触媒(陽イオン交換膜、ゼオライト、硫酸)を用いることで、目的物であるフルオレセインの合成にどのような影響が出るのかを体験的に学ぶことができました。また、反応が進むのを待つ間は「光触媒の超親水化」についての講義を受けました。光触媒についての話、身の回りでの活用方法、それに至るまでのトライ&エラーの過程など、少し難しい内容でしたが、非常に興味深い内容でした。特に、「いつ役に立つかわからない」のが研究で、根気強く継続することが大事だと学びました。また、研究をするうえで、『強みを強みに、弱みを弱みに』という意識をもつと研究の独自性が生まれやすい』というお話はとても印象に残りました。今村先生は、高校生のうちに、ぜひ校外の活動に

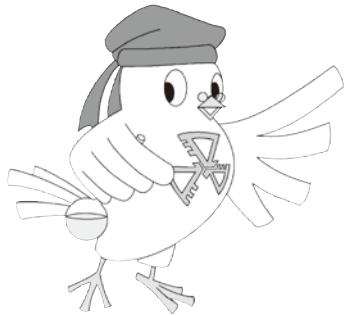
積極的に参加して、自分の視野を広げてほしいと仰っていました。



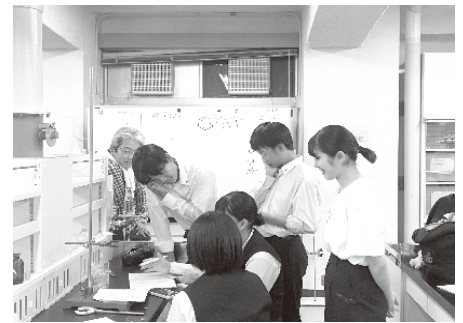
試験管に酸触媒を滴下する様子

午後からは、永野高志先生の「グリニヤール試薬を用いた炭素-炭素結合形成反応」についての実験を行いました。フラスコ内を窒素で置換した特別な条件下で、目的物の合成を行い、TLCを用いて目的物だけを単離した後に、化学反応式と分子量を用いて収率を求めました。永野先生の研究室で、大学生や大学院生たちが毎日のようにやっている専門的な実験で、繊細で丁寧さが求められる操作が多く、難度が高く、高校では決して体験することができない本格的な有機合成実験でした。

◆サイエンスワールドワーク
瀬戸大橋にて、巨大建築物の見学実習
(理数科 二年生)
十月二十三日(水)に、香川県にある瀬戸大橋記念館と



午前・午後の実験とも長時間の内容でしたが、難しいながらも実験を楽しみ、大学生や大学院生とも交流を深めることができ、将来の進路について考える有意義な時間を過ごすことができました。

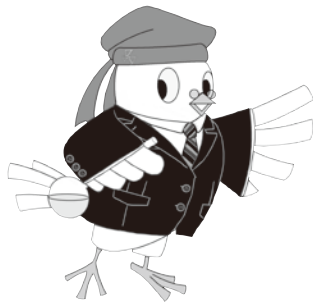


香りのある分子の合成実験の様子



与島PAでの研修の様子

与島PA内でサイエンスワールドワークを実施しました。記念館では、瀬戸大橋建設の肝であったケーソン設置の海中大工事について、実際に使用した機械や実物模型などの展示を見ながら深く学びました。与島PAでは瀬戸大橋を実際に見ながら、本州四国連絡高速道路の職員の方から橋の概要やその管理・維持方法などを説明していただきました。その後、通常は入ることのできないアンカレイジ内に入り、瀬戸大橋の建設手順についてパネルを使って説明していただきました。瀬戸大橋を二百年以上利用するために、徹底的に保守管理を行っており、AIを用いた点検が導入され始めたそうです。



◆その他
理数拠点校としての科学推進事業「中学生科学実験講座」
八月三日(土)に、「中学生科学実験講座」を開催しました。今年度は化学分野と生物分野の二講座で実施しました。化学分野では、イチゴ・パイナップル・バナナの香りをもつエステル合成実験で、高校化学の内容について体験しました。生物分野では、事前に準備されたDNAサンプルを用いてPCR法を行い、人物を特定する実験を行いました。マイクロピペットなど、中学校では扱うことのない器具を用いて、少し難度の高い実験に取り組みました。どちらの講座も実験を通して体験的に学ぶことで、科学に対する興味・関心を高める機会にしていただけたのではないのでしょうか。来年度以降も実施していく予定です。ぜひ多くの中学生に参加いただければと思います。

*SSH活動の様子は本校HPに掲載しています。



マイクロピペットの使い方について



実験結果を考察する様子



ALT挨拶

皆さんこんにちは、フィランと申します。イギリスから来ました。新しいALTになれて嬉しいです。よろしくお願いいたします！

Hello everyone, my name is Philan. I'm from the UK and I am very happy to be your new ALT. I'm looking forward to continuing to support the students with their English learning!

新課程入試元年

進路指導部

今年も残すところ約二週間となりました。一月十八日(出)、十九日(日)には大学入学共通テスト(以下、共通テスト)が実施され、大学入試も本番を迎えます。本年度、本校からは二六四名の生徒が共通テストに出願しています。先週末には共通テスト本番と同様の日程で予行演習を行い、いよいよ受験勉強も大詰めとなりました。全国でも約四十八万人の受験生が出願し、目前に迫った試験に向けて追い込みをかけています。体調管理に努めながら、最後の最後まで全力を尽くして頑張ってください。

さて、三年生のみなさんが入学した二〇二二年度より、新学習指導要領によるカリキュラムがスタートし、二〇二五年度入試は、はじめての新課程入試となります。共通テストも教科・科目の再編など、大掛かりな変更があります。最も大きな変更点は、新科目として「情報Ⅰ」が追加されることです。「情報Ⅰ」については、国立大学ではほとんどの大学が必須としているため、国立大受験において共通テスト「情報Ⅰ」は避けて通れません。公立大学では半数ほどの大学が必須とし、私立大については「選択科目」や「課さない」とする大

学もあり、大学によって異なります。また、「情報Ⅰ」の追加以外にも、国語の大問の増加、数学の出題範囲の拡大に伴う試験時間の延長など、受験生にとっては負担増になると言われています。しかし、教科・科目以外に仕組み自体の変更は少なく、既卒者対象の経過措置(旧課程科目の出題、出題範囲の配慮など)もあり、過去の課程切り替わり時と同様、出題レベルの大きな変動はない、という予想も出ています。本格的な新課程入試は経過措置がなくなる二〇二六年度入試からとも言えるでしょう。新しい入試ということで心配もあると思いますが、みなさんは、高校入学時より、新課程で学んできています。共通テストについても「自分たちが高校で学んできたことを発揮できる入試」ととらえ、過度に警戒や不安を抱くことなく、まずは受験勉強に集中しましょう。冬季休業中は、まとまった時間を確保し、勉強に集中できる最後の機会です。悔いの残らないよう、志望校合格に向けて最大限の努力をしてほしいと思います。

か」についても考えてください。進路目標を実現するために、現在どのような勉強や活動をしているのかを振り返ってみましょう。三年生になったときに、総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜でも、高校生活で培った力や、大学での専門的な学びに向けて、どのような準備をしてきたかを自分の言葉で書くことが求められます。時間的に余裕のある冬季休業中に、志望大学で学ぶことができる内容や、学問分野について確認しておきましょう。また、大学受験には受験料に加えて、交通費や宿泊費、合格した場合の入学金等が必要となり、費用面の検討も重要です。この機会を利用して、進路について、保護者等の方とも十分に話し合い、準備を始めてください。

最後になりましたが、入試本番となる冬は例年、感染症が流行する季節でもありますが、万全の体調で乗り越えるためにも、心と身体の状態を安定させることが第一です。健康管理はもう一つの入試科目とも言われます。十分な睡眠時間とバランスの良い食事、そして適度な運動も心掛け、規則正しく過ごすようにしてください。三年生の皆さんのご健闘を心より応援しています。

県内国公立大学 総合型選抜・ 学校推薦型選抜 合格状況

高知大学	十五名
高知県立大学	十四名
高知工科大学	十二名

今後の主な 行事予定

1月8日(水)	始業式
1月18日(土)・19日(日)	一・二年生課題テスト
1月27日(月)～1月31日(金)	大学入学共通テスト
1月27日(月)	一年生修学旅行
1月31日(金)	二年生錬歩会
2月19日(水)～26日(水)	学年末試験
2月28日(金)	卒業式予行
3月1日(土)	卒業式
3月18日(火)	終業式

編集後記

今号では大体育祭とミニ文化祭の様子を中心に掲載しました。様々な行事を先導しながらも受験や就職試験に向けて日々真剣に取り組む三年生の姿は一、二年生の良い模範になっていたように感じます。

二学期も保護者等の方々をはじめ、関係する皆様のご協力のもと、無事に終えることができました。受験シーズンも到来し、追いつみの時期に入っています。が、くれぐれも健康にご留意のうえ、有意義な冬休みをお過ごしください。今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

*若鳩はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.kochi-net.ed.jp/ozu-h/>

